

2007年3月6日
東日本旅客鉄道株式会社

～「Tokyo Station City」いよいよ姿を現します。～
2007年10月、
東京駅改札内地下1階エキナカ商業施設「GranSta(グランスタ)」誕生！

東京駅中央コンコース地下1階に、エキナカ商業施設「GranSta(グランスタ)」が誕生いたします。

2007年10月、東京駅改札内地下1階に、エキナカ商業施設「GranSta」が新たに誕生いたします。「東京 Precious Memory」をコンセプトに、お客さまの大切な思い出に残るような、上質でオリジナリティーの高い商品を取り揃え、ゆとりと寛ぎの時間を過ごせる空間をご提供いたします。あわせて、利便性と快適性を兼ね備えた駅となるように、駅改良工事も実施します。

開発概要

東京駅地下1階の改札内に商業施設を開発し、お客さま一人一人の大切な思い出、記憶に残るような、上質でオリジナリティーの高い商品の販売やサービスの提供をいたします。

- ・ 所在地 東京駅改札内地下1階
- ・ 開発面積 約4,500㎡
- ・ 店舗面積 約1,500㎡
- ・ 店舗数 約50店舗
- ・ 店舗業種 デリ、スイーツ、ベーカリー、カフェ、グロッサリー など
- ・ 売上想定 年間約56億円
- ・ 施設名称 「GranSta(グランスタ)」
- ・ 開発運営 (株)鉄道会館

コンセプト 「東京 Precious Memory(プレシャス メモリー)」

限られた時間でも良質な商品・サービスをお求めになる旅行者、近隣のオフィスワーカーを対象に、東京駅を単なる通過点ではなく、お客さまがそこに集い、お買い物を通じて新しい食文化の情報を発見したり、質の高いサービスを受けたりすることで、思い出として心に残るような時間を提供する施設を目指します。

東京駅周辺の商業ディベロッパーである(株)鉄道会館が開発運営を担当し、徹底した顧客視点で、商業施設のマーチャンダイジング、売場マネジメント、販売促進を一体で行います。

GranSta (グランスタ)

GranSta とは、壮大さ・最高位を意味する「grand」と、4つの意味を含めた「Sta」を組み合わせた造語で、首都東京の中央駅である東京駅に相応しいエキナカ空間を表現しています。

「Station」：東京ステーションシティ開発の中核である駅

「Status」：首都「東京」に相応しい品格

「Start」：旅の期待感を高める出発駅

「Stage」：多くの人が行き交い、思い出・記憶に残る体験を得られる舞台

駅施設の改良について

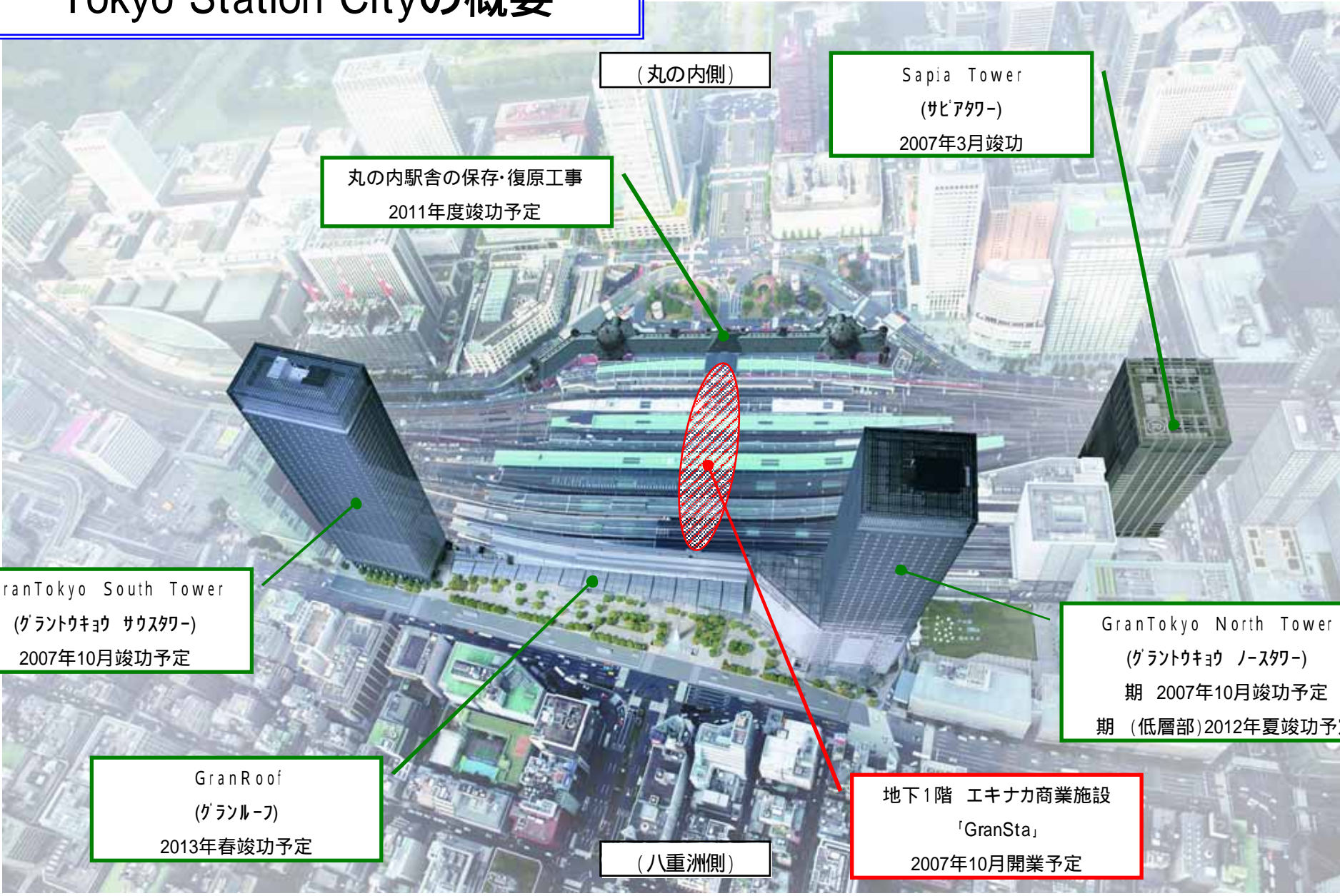
4箇所・上下8基のエスカレーターの新設をはじめとして、分かりやすい案内サインの整備、コンコースの壁や天井のリニューアルを実施し、地下1階コンコースのイメージアップと歩行動線強化により、地上コンコースの混雑も緩和します。また、銀の鈴周辺に点在するコインロッカーを集約して利便性の向上を図ります。

別紙1 Tokyo Station City の概要

別紙2 「GranSta」位置図

別紙3 「GranSta」完成予想図

Tokyo Station Cityの概要



(丸の内側)

Sapia Tower
(サピアタワー)
2007年3月竣工

丸の内駅舎の保存・復原工事
2011年度竣工予定

GranTokyo South Tower
(グラントウキョウ サウスタワー)
2007年10月竣工予定

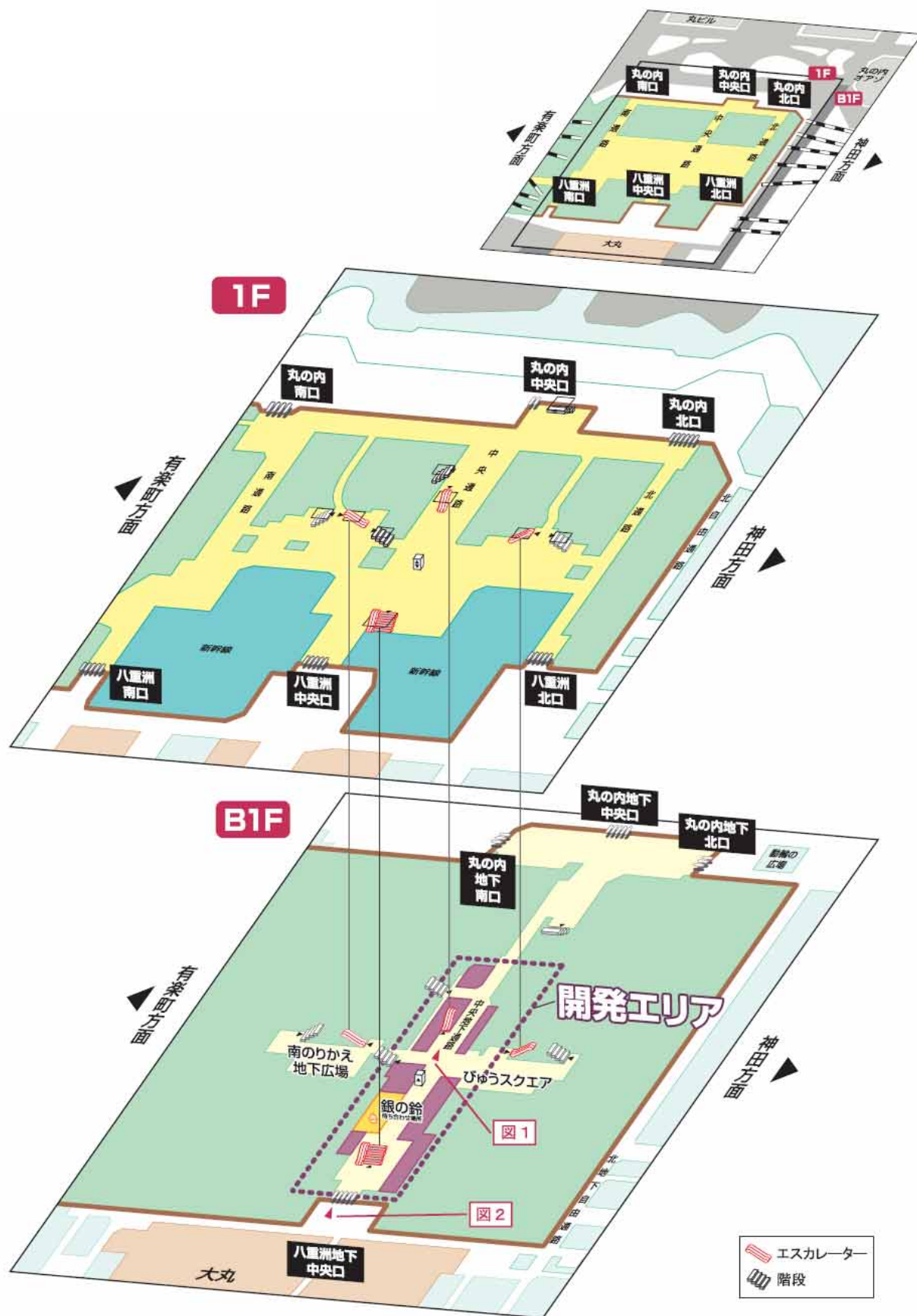
GranTokyo North Tower
(グラントウキョウ ノースタワー)
期 2007年10月竣工予定
期 (低層部) 2012年夏竣工予定

GranRoof
(グランルーフ)
2013年春竣工予定

(八重洲側)

地下1階 エキナカ商業施設
「GranSta」
2007年10月開業予定

「GranSta」位置図



「GranSta」完成予想図



図1



図2